



厚生財団

KOSEIZAI DAN

一般財団法人 新潟県教職員厚生財団 TEL 025 (228) 3581 URL <http://www.koseizaidan.or.jp>
〒951-8516 新潟市中央区東中通1-86-73 FAX 025 (224) 8830 E-mail info@koseizaidan.or.jp

TOPICS (主な内容)

令和5年度 事業計画と収支予算	P.2
厚生財団 事業案内	P.3
創立110周年記念事業	P.4
払込金・残高明細書について	P.5
新連載 佐渡島の金山シリーズ	P.6

新潟県の文化財シリーズ

岩船まつりは、毎年10月18日、19日に行われる石船神社の御祭礼です。中世時代の古文書に祭礼行事の記載があることから、約500年以上の歴史を有するものと考えられます。航海の安全と大漁、地域の発展と繁栄を祈願するもので、まつり当日は、絢爛華麗な9基の屋台曳行と、御神輿の渡御が盛大に行われ、港町岩船に相応しい賑わいを呈します。



明神丸をお飾りする岸見寺町屋台

■ 岩船まつり
新潟県無形民俗文化財

写真提供 村上市教育委員会
村上・岩船支部長 文 村上市立岩船中学校長 木村 博 様



信頼され、愛される厚生財団を目指して

理事長 坂井 育男

昨年12月からの豪雪、大寒波と続いた厳しい冬も終わり、桜をはじめ草木が一斉に芽吹く春の訪れとなりました。5月からは「新型コロナウイルス感染症」も2類から5類へと変更が予定されています。少しずつ、社会生活もコロナ以前の状況に回復していくことでしょう。

さて、現在(12月末時点)、厚生財団の団員数は、現職団員17,202名、継続団員5,064名、計22,266名です。団員の皆様から積み立ていただいている積立金約340億円を貸付金として利用したり、債券運用をしたりして、年間約5億円の収入を得ております。これらの収入を普通厚生費、特別厚生費(お祝い金・見舞い金)、人間ドック補助、教育・文化活動助成等の事業を通して、団員の皆様の福利厚生に活かさせていただいております。また、積立金は退団時に全額、普通厚生費と一緒に払い戻しています。このように、厚生財団は団員の皆様にとって、メリットの多い福利厚生団体です。

ところで、令和5年度から「定年延長」が始まります。厚生財団としても今年度中に現職団員の年齢延長、継続団員の

加入開始年齢について方向性を出す予定にしています。定年までは、厚生財団の福利事業の恩恵を受けられるように取り組みます。将来的には、65歳までを現職団員と考えています。団員の皆様が、定年まで、健康に留意され、安心してお勤めしていただくためにも福利厚生の充実には欠かすことはできません。団員の皆様は、健康の三原則「食事・睡眠・運動」に心がけておられることと思います。何事も、メンテナンスは病気の早期発見・早期治療に必要なことです。厚生財団の総合健診(人間ドック)やオプション検査の受診料補助を活用して、定年延長に備え、健康づくりに努めていただければ幸いです。

最後に1月号でも触れましたが、令和5年度、厚生財団は創立110周年を迎えます。これまで、長く、教職員の皆様にご利用いただきましたことに感謝申し上げます。これからも、厚生財団は団員の皆様の声に耳を傾け、真摯に事業に取り組んでいきます。今後も、皆様に「信頼され、愛される厚生財団」を目指してまいります。

令和5年度 事業計画と収支予算

去る2月8日に「令和4年度 第3回理事会」が開催され、令和5年度の事業計画および収支予算が慎重審議の結果、議決されましたのでお知らせいたします。

令和5年度の課題として、①新採用教職員の早期入団促進、②貸付事業の利用増、③安定した資産運用、④関係機関との一層の連携、⑤創立110周年事業への取組の5点を重点に事業を推進いたします。

1. 具体的な施策

- ① 新採用教職員へ、財団のメリットを活かして生活を豊かにしてもらうために早期入団を働きかけます。そのために、前年度中に案内文書を送付し、4・5月を「入団促進強調月間」として、将来のライフプランに財団を利用することの優位性を紹介します。また、所属長や事務職員の皆様から、入団に際して支援を得られるよう、校長会訪問等でのわかりやすい説明に努めます。そして、年間入団率90%を目指します。
- ② 今年度も財団の貸付事業のよさを周知し利用してもらい、団員の生活を支援できるように努めます。昨年度には皆様の希望にお応えし、全ての貸付利率を0.9%に引き下げました。「手続きが簡単・随時受付・翌日送金」のモットーを強調し、広報紙やホームページを利用してよさを周知します。
- ③ 団員の皆様からの積立金を資産運用し、得た収益を福利厚生事業の充実に活用します。証券会社の支援を受けながら慎重に吟味して、安定した運用収益を確保することを目指します。また、今年度は利率

の良い債権が多く償還を迎えるため、将来を見据えて債券を購入し、償還年限のバランスを考慮した資産運用に努めます。

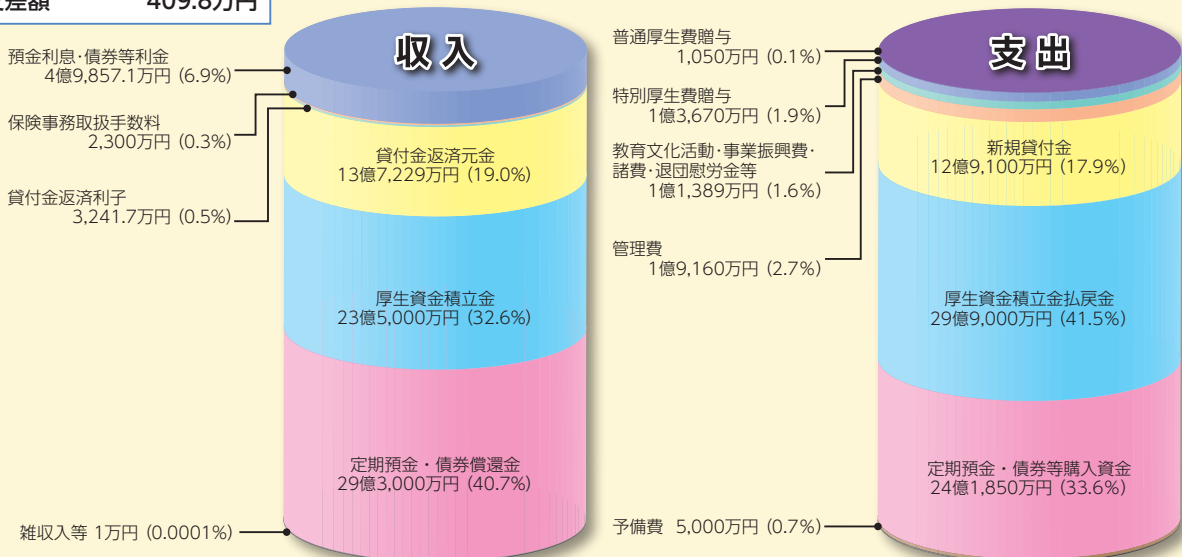
- ④ 財団の福利厚生のよさを広く教職員の皆様に周知し、財団を利用してもらうことを目指します。そのために、関係団体との会合や連絡等の連携を一層深めます。各会合では、財団のメリットを積極的に発信し、福利事業への理解を深めていただくよう取り組みます。また、会合で得た団員のニーズや思いを福利事業に反映し、活かしていくように努めます。
- ⑤ 財団は大正3年に創立され、今年度110周年を迎えます。記念事業として、これまで支えていただいた団員の皆様へ記念品を贈呈いたします。110周年を迎える喜びを団員の皆様と共有し、今後の財団運営に信頼を寄せていただける機会と考えています。

2. 中・長期的な展望

- ① 社会の変化に即応した事業の見直し
- ② 自然災害等、非常時の団員支援に向けた財源確保
- ③ 定年延長に向けた制度対応

◆◆◆ 令和5年度予算 収支グラフ ◆◆◆

収入総額	72億628.8万円
支出総額	72億219万円
収支差額	409.8万円



令和5年度 事業案内

●各種利率一覧

普通厚生費贈与率、貸付利率ともに据え置きます。なお、令和4年度分の普通厚生費は年度末に積立金残高へ繰り入れました。繰入額は4月分の「払込金・残高明細書」にてご確認ください。

普通厚生費				年0.03%
一般資金貸付金	生活	自動車	結婚	年0.9%
	入学	学資	災害	
住宅・宅地資金貸付金				年0.9%

●「退職を祝う会」および「継続団員連絡会」の開催中止について

新型コロナウイルス禍により令和2年度から開催を中止している「退職を祝う会」および「継続団員連絡会」ですが、令和5年度も引き続き中止とさせていただきます。

4月1日から学校におけるマスク着用の考え方の見直しがあり、5月8日からは新型コロナウイルス感染症が「5類感染症」に位置づけられます。しかし、未だ収束の目途が立たない中で、大勢の方をお招きして飲食を伴う会を開催することは控えさせていただきたいと思っております。したがって今年度も中止とさせていただきます。

参加を楽しみにされていた皆様には、誠に申し訳なく存じます。来年度こそは無事に開催できることを願っています。なお、延期や代替事業の実施はございません。参加対象者には改めてお知らせの文書を送らせていただきます。

●特別厚生費の贈与

以下に該当する団員は、祝い金を受け取ることができますので各種請求書と添付書類をご提出ください。請求期限は事由発生日から3年となります。(入団前の事由は対象外)

団員が結婚したとき ⇒ **結婚祝金 5万円**

添付書類 戸籍抄本（事実婚の場合は双方の住民票）の写し

子が小学校に入学したとき ⇒ **就学祝金 2万円**

添付書類 学齢児童就学通知書、子の健康保険証いずれかの写し

改定事項のお知らせ

●財団契約機関の名称変更について

総合健診（人間ドック）の契約受診機関である「一般財団法人 健康医学予防協会」が令和5年1月1日に「一般財団法人 新潟県けんこう財団」に名称変更をしたことに伴い、諸規程の該当箇所を修正しました。

●新潟県教職員年金制度の一部制度変更について

新潟県教職員年金制度について、遺族一時金受取人の範囲が以下のように変更されました。

【変更内容】遺族一時金受取人について(下記⑦～⑨を追加)

掛金払込期間中に死亡された時、脱退一時金に払込中の月払掛金1口につき1,000円相当額（遺族年金特約保険金）を加えた額を加入者のご遺族にお支払いします。

(注)遺族の範囲および順位は次のとおりです。

①配偶者 ②子 ③父母 ④孫 ⑤祖父母 ⑥兄弟姉妹

⑦甥姪 ⑧伯叔父母 ⑨従兄弟姉妹

厚生財団は創立110周年を迎えます

厚生財団は、新潟県内教職員が相互扶助を図ることを目的として大正3年（1914）に創立され、令和5年度に110周年を迎えます。

長きにわたって支えていただいた団員の皆様へ感謝の意を表し、ともに110周年を迎える喜びを分かち合う記念事業として全団員へ記念品を贈呈いたします。

創立110周年記念品の贈呈

新潟県燕市の「メイドインツバメ」認証 **アイスクリームスプーン**

伝わる手の体温で溶かしながらすくえるアイスクリームスプーンです。シルバーとゴールドの2本セットをお贈りします。

熱伝導の良いアルミ製で、固いアイスも滑らかにすくうことができます。



令和5年7月下旬から順次発送予定

現職団員は所属所、継続団員は自宅へ発送します

※休職等で積立金の払い込みを中止している団員、及び継続団員の方は、転居または住居表示の変更がありましたら、厚生財団まで新住所のご連絡をお願いします。

令和5年度の新入団員の方にも記念品を差し上げます
ぜひ未入団者へのお声掛けをお願いいたします

西暦	年月日	厚生財団社屋等の変遷
大正		
1914	3・1・25	「新潟県小学校教員互助会」創立
	3・1・26	事務所を新潟県庁内に設けた
昭和		
1937	12・1・15	事務所を現住所（新潟市中央区東中通1番町86番地73）へ新築移転
1939	14・6・9	「社団法人新潟県教員互助会」へ改称
1944	19・10・15	社団法人新潟県教員互助会を改組し、「大日本教育会新潟県支部厚生財団」へ改称 社団法人から財団法人に変更
1946	21・12・5	大日本教育会新潟県支部と分離し、名称を「新潟県教職員厚生財団」に変更
1953	28・5・28	財団法人を冠し、本財団の正式名称を「財団法人新潟県教職員厚生財団」とした
1955	30・10・1	新潟市大火で本財団事務所が焼失
1956	31・7・9	事務所再建竣工
平成		
2008	20・5・10	財団社屋耐久性及び耐震診断を実施
2013	25・5・18	財団創立100周年記念式典・祝賀会を挙行、全団員に記念品を贈呈
2014	26・4・1	新法人へ移行し、名称を「一般財団法人新潟県教職員厚生財団」とした
2015	27・8・3	社屋新築工事のため、仮事務所へ移転
2016	28・7・22	新社屋竣工
	28・9・24	新社屋竣工祝賀会を挙行、全団員に竣工記念品を贈呈
令和		
2023	5・7・-	財団創立110周年記念品を全団員に贈呈

「払込金・残高明細書」を 全団員へ送付しました

4月分に限り、全団員へ送付しています。
この機会にご自身の積立金残高や普通厚生費
繰入額など、内容の確認をお願いします。

所属や住所等をご確認ください

所属の異動や個人住所の変更が正しく行わ
れているか確認をお願いします。表記に誤り
があった場合は、お手数でもご連絡ください。

積立月額を変更しました(現職団員)

3月の請求分より、積立金明細書にてご報告
いただいた積立月額へ変更しました。
※記入間違いや給料月額から算定する規定額への
修正等で、変更を希望しない団員も積立月額が
変わる場合があります。

事務局から

人間ドック等の受診料補助について

今年度分の人間ドック等受診料補助の申請
受付が始まりました。令和5年度の受診料
補助要項は、厚生財団ホームページの書式集
からダウンロード・印刷してご利用ください。

なお、継続団員にはご自宅へ受診料補助要項
を送付いたしました。

特別厚生費の送金事務について

年度初めは、就学祝金などの特別厚生費につ
いて請求が集中するため、送金事務が遅れる
場合があります。ご不便をおかけいたしますが、
あらかじめご了承ください。

積立金や貸付金の残高確認は団員マイページで

新潟県教職員厚生財団

検索

「払込残高明細書」で払込金・残高の確認

「Web申請書」で書類の取得

ホームページからアクセス！ ログインID・パスワードをお忘れの場合はご連絡ください。



BESTパートナー
大樹生命

日本生命グループ

つなぐ～信頼を届け、未来を拓く～

大樹のように とことん安心
大樹のように もっとよりそう
大樹のように ずっとずっと見守るよ
大きな安心 お届けします

大樹生命保険株式会社 新潟支社

〒950-0087 新潟市中央区東大通1-3-10 大樹生命新潟ビル6F TEL:025-243-6877

<https://www.taiju-life.co.jp/>

シリーズ 佐渡島の金山

第1回

佐渡の金銀山

道遊の割戸（青柳の割戸）

50か所もの鉱山があった島

佐渡を世界遺産にする会



● 精力的な金銀山開発 —金の島—

佐渡が「金の島」として歴史に登場するのは11世紀末頃の『今昔物語』に始まる。

以来、大小の鉱山が開山、閉山を繰り返しながら金銀を掘り続け歴史をつないできた。

平成18（2006）年に新潟県と佐渡市が作成した「佐渡島内鉱山分布図」によると、その数50（未確認鉱山を含む）に及ぶ。国中平野、大佐渡山地北端、小佐渡丘陵東端および西端を除いてほぼ島内全域に分布し、精力的な金銀山開発が推測できる。

29か所は、戦国期から江戸時代に採掘され、21か所は時代不明とある。また、どんな鉱物を掘ったかわからない鉱山もあるという。

もっとも中心的な鉱山は相川金銀山とその先がけとなった鶴子銀山と新穂銀山、そして『今昔物語』の舞台とされる西三川砂金山である。これに続くのが、江戸初期以来の大須三貫目銀山・花見沢銀山、明治以後相川金銀山の支山として大盛りをした入川銀山（高千鉱山）がある。また、小川銅山・孫次郎鉛山のような銅・鉛の山もある。

相川金銀山は平成元（1989）年の休山まで400年掘りつづけ、金78トン、銀2,330トンを産出、徳川幕府や明治政府の財政に大きな影響を与えた。

● 遺跡は語る —稀有の島・佐渡—

佐渡の鉱山とその関連遺跡について、平成18（2006）年、県と市が作成した世界遺産暫定一覧記載提案書「金と銀の島・佐渡—鉱山とその文化—」に次のようにある。

「…略…現在でも各時代の鉱山関連遺跡が島内各所に良好に残り、鉱山とともに形成された鉱山都市

佐渡島内鉱山分布図



と一体になった景観を見ることができる…中略…佐渡島には約400年にわたる金銀山に関連する遺跡・建造物・景観が広く分布し、人類が獲得したすべての鉱山技術の変遷を目のあたりにできる島として世界にも稀有な存在といえる…」

世界文化遺産をみぞすゆえんである。

今回は、多種多様な鉱山遺跡のうち、中世以来採掘が続けられた大小の鉱山を紹介した。一かく千金を夢見て稼がれた山々は鉱山遺跡の原点である。

今後の調査でさらに新しい知見が得られることを期待したい。（羽生令吉）